

■児童・生徒の学力の状況

- 令和5年度全国学力・学習状況調査の国語・数学・英語の正答率は全国のそれと比較して約5ポイント低い。
- 都の調査によると、5教科とも5割から6割の生徒がその教科が好きであると肯定的に捉え、7割から8割の生徒が授業内容がよく分かると回答しており生徒の意欲はあるが、正答率と結び付いていない。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題  
※「読み解く力」の育成を踏まえて

- 授業のまとめやふりかえりでOutputするだけにとどまらず、Outputの内容を評価していく必要がある。
- 教科書を用いた授業を徹底し、基本的な知識の確認を日常的に行っていく。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

- 学習指導要領の実施に基づき、主体的・対話的で深い学びの視点から、各教科等における資質・能力を育成し、指導と評価の一体化を図る。
- 一人一台端末を用いた個別最適な学び協働的な学びの充実を図り、主体的に学習を調整する力の育成を図る。
- 「板橋区授業スタンダード」の徹底とともに、「読み解く力」における6つの視点の認識・思考・表現という学習の流れを重視し、確かな学力の定着・向上を図る。
- 学校教育に馴染めない生徒への学びの機会を保障し、家庭と関係機関との連携を図り、社会的に自律することをめじた生徒の育成を図る。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底	読み解く力の育成	総合的な学習の時間との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書を用いた読み解く力の6つの視点のうち、イメージ同定と具体例同定に絞った授業展開の定着</li> <li>○授業のめあて(共書き)とOutput(書く・発表する)の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み解く力を意識した研究授業、学びのエリア研修の設定</li> <li>○視察を希望している自治体及び学校への授業公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現実の地域の課題を捉え、区役所子ども政策課と連携して、解決に取り組み、地域への愛着を深める取組等の実施</li> </ul>

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のiカリキュラムの活用	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
<ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回程度、定期的に打合せを行い、各小中の研修授業・協議会で検討を行う。</li> <li>○生徒会サミット・学級委員会等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科での既習内容を基に、グラフや表などを基にして相手に伝わるように自分の言葉でOutputする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレットの利用した他者と課題解決を図る資質能力の育成を図る。</li> <li>○オンライン授業日の設定をする。</li> <li>○タブレット活用推進期間を設定してタブレットを用いた個別最適な学びと協働的な学びの推進を図る。</li> </ul>